

梅香学園

園評価

平成26年度

- 園目標
- ・ じょうぶでたくましい子ども
 - ・ 素直で心豊かな子ども
 - ・ 誰とでも遊べる思いやりのある子ども
 - ・ 自分で考え行動する子ども
- 評価（A：十分達成されている B：達成されている C：取り組んでいるが、成果が十分でない D：取り組みが不十分である）

* 保育の計画と実施に関する評価

項目	内容	評価	今後の改善に向けて
保育について アンケート設問 1, 3, 5, 6, 7, 11	・ 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態をふまえた重点目標を設定しているか	B	・ 園の方針や年間計画など、入園当初にわかりやすく保護者に伝え理解をしてもらうようにしたい ・ 保育計画や環境構成、それぞれの保育士の考え方など今の幼児の姿を捉えて確認しあうことが大切だと思われる。保育士同士でしっかりと伝達、相談し合い保育において全員が共通理解した上で進められるようにしていきたい。
	・ 保育計画において全職員が共通理解している	C	
	・ 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか	B	
	・ 一日の流れは現行でよいか	B	
	・ 評価結果を基に、保育の改善に努めているか	B	
行事について アンケート設問 9, 10	・ 行事の種類や実施回数は適切か	A	・ 季節や子どもの成長に合わせてまた保護者の負担も考えつつ、行事を取り入れているが保育士の負担がかなり大きく感じられるので検討をしていきたい。
	・ 行事のねらいを計画や実施に十分に生かしているか	B	
	・ 保護者の願いや意見を取り入れているか	B	
環境について アンケート設問 3, 4	・ 子どもの成長に即した保育環境になるよう工夫を重ねている	B	・ 園舎の老朽化や保育の導線など問題はあるがその中でも保育士で工夫をしながら子どもに合った環境設定に心がけていく ・ 清掃にも心がけ季節の花など植え清潔な園となるようつとめたい
	・ 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	B	
	・ 遊具・用具など、活用しやすいように整理・保管しているか	B	
情報について アンケート設問 2	・ おたよりやホームページを通じ園の情報を発信しているか	C	・ 子どもたちの園での様子や友だちとのかかわりなどが伝わるようにホームページに載せたり園目標や月のねらい等を行事などを等して保護者にわかりやすく伝えていきたい
	・ 個人情報の管理は適切に行っているか	A	
連携について アンケート設問 8, 10, 12	・ 地域・保護者との連携を図ると共に園の行事運営などに努めている	A	・ 緊急時や確認のいるお知らせなどは、保護者にメール配信を行い連絡徹底を図っている。 ・ 地域の中の保育園作りとして、行事などに地域の老人クラブなどに呼びかけ共に寄り添い協力し合って運営できるようになってきているが、今よりもなお一層、話し合い
	・ 保育士同士協力し合って保育にあたっている	B	

			をし、よりよい地域の保育園として確立したい。
--	--	--	------------------------

研究・研修について	(園内) ・園内研修の計画・運営は適切か	C	・勤務時間のばらつきによりなかなか時間が取れない。しかし自分の学びになるので保育を見合う機会をたくさん持ちたい ・クラスのことや保育の中での迷いなど話し合える時間を多く持ちたい
	・研究主題は保育目標の具現化につながるものであるか	C	
	・研究の成果を日常の保育に生かし乳幼児の育ちに反映させているか	C	・研修に参加しより良い保育が出来るよう努める ・内容等保育に還元しているがそれらを園内研修の中に組み込みさらに発展させるよう向上につとめたい
	(園外) ・研究会・研修会・講演会への参加態勢の充実を図っているか	D	
	・それらの内容を園内に還元しているか	D	
経営・組織について	・係や仕事の分担・割り当ては適切か	C	・職員で協力し合い相談しながら役割や仕事など進め、自分の分担・割り当ては責任を持って行っていく
	・職員の配置は適材・適所か	C	
保険・安全について	・避難訓練・交通安全教室を計画に基づいて適切に実施しているか	A	・年間を通して段階を踏まえて実施できた ・水害、竜巻などの自然災害における対応マニュアルを作成する。またバス通園の園児、保護者にもバスルートを確認してもらい災害の時には対応してもらう
	・健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか	A	
子育て支援について	・気軽に保護者の相談にのり、具体的な支援やアドバイスを行っているか	A	・子育て相談をしていることをもっと提示していく ・検診において、医師、保護者、保育士との連携を図り、お知らせなどで伝えることで、より保護者も安心して子育てに見通しが着くのではないかと考える。 ・専門機関との連携をさらに充実させていく。
	・医療機関・児童相談所などの専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	A	

* 全職員での研究会や職員会議など勤務時間や超過勤務の関係でなかなか時間を捻出することが出来ない。しかし、保育の向上や学びにもつながるので、積極的に持ちたい。

* 職員間の伝達事項を会議や職員の集まりの中で全員に伝えられ共通理解をしていく。

